

# 村山ひでき

## 市政レポート

ひとをつなぐ まちをつくる

### 小金井市議会 「みらいのこがねい」 会派ニュース

#### コロナに負けるな！がんばろう小金井！ 第3回定例会 中間報告号

- 一般会計補正予算（第6回）への組み替え動議が可決し予算原案は後日に修正措置
- 組替え動議への村山ひでき反対討論と採決結果（賛成17：反対6）
- 個人情報盗用事件：総務企画委員会で18年ぶりの参考人招致（9月15日）
- 都内で8例目！「小金井市パートナーシップ宣誓制度」が10月20日からスタート！



## 第3回定例会：補正予算は組替え動議により可決

### 村山ひでき 具体的なコロナ対策を要望しつつ組替え動議に反対



↑ 感染予防のアクリル板の前で反対討論（9月25日）

9月25日は市長提出議案などが本会議で採決される区切りの日ですが、この日、一般会計補正予算（第6回）に対し、公明党、共産党、情報公開こがねい、市民とカエル会の共同提案で組替え動議が提出されました。

**「組替え動議」とは、議案が議案に対しての修正要望などを示す手段であり、動議が可決された場合は、要求された内容を市長部局が反映することを約束することで、動議に賛成した議員も残った原案に対し賛成することになります。**

今回の組み替え動議の内容は、市長原案では財政調整基金に積んでいる16億8000万円の中から新型コロナウイルス感染症対策基金に1億8000万円を新たに積むというものでしたが、組替え動議でなければならないとする理由が弱いと村山ひできは判断し、**反対討論**も行いました。

しかし、議会多数は組替え動議に賛成。市長が次回の補正予算で要求箇所を修正することを表明し原案が可決されることになりました。詳しくは、提案議員と村山ひできとの質疑となったYouTubeをご高覧ください。約54分後に動議に対する質疑がスタートします。

#### 《組替え動議に対する本会議での採決結果》※1

	会派略称 ※2	所属議員名
賛 成 17	自民党・信頼④	湯沢綾子・吹春やすたか・清水がく・遠藤百合子
	公明党④	宮下誠・紀由紀子・小林正樹・渡辺ふき子
	共産党③	水上洋志・たゆ久貴・板倉真也
	こがおも②	白井亨・水谷たかこ
	市民会議①	斎藤康夫
	情報公開①	渡辺大三
	生活者ネット①	田頭祐子
	市民カエル①	片山薫
反 対 6	みらいのこがねい④	村山ひでき・鈴木成夫・岸田正義・沖浦あつし
	改革連合①	篠原ひろし
	緑・つながる①	坂井えつ子

※1＝全議員24名のうち議長は裁決には加わりません

※2＝マル数字は所属している議員数です

#### 組替え動議に対する反対討論（抜粋）

議会として市長部局に対し、緊急を要するコロナ対策事業を早く行うべきと主張するのは当然であり、我が会派も高齢者世帯や学生への支援や、安心して市民が生活できる検査体制の充実といったコロナ対策の要望をしているところだ。

しかし、コロナ対策基金に行政部局が新たな対策費を積んでいないから政治姿勢を示すべきという理由で1億8000万円もの大きな金額を積んでおくというのは疑問だ。**コロナ対策基金に積まなくとも、財政調整基金でコロナ対策にお金を使うことはできることを忘れてはならない。**

1億8000万円の算出根拠は繰越金の一割で提案議員が一致できたからというものであり、具体的な使い方のイメージは提案されておらず、これから市長部局から具体的なコロナ施策の提案があれば、1億8000万円を提案内容によっては使うことも考えられるということだった。

よって、コロナ対策基金に積まなければならないとする理由が不十分と判断し、組替え動議に反対する。

また、新たなコロナ対策の追加補正予算を、今議会中もしくは臨時会の開催も視野にいれて早く議会に提案することを西岡市長に強く要望する。

# 個人情報盗用事件の陳情審査のため18年ぶりの参考人招致

9月15日、総務企画委員会で「高齢者福祉委託事業に係る個人情報の盗用事件」に関する4件の陳情審査のため、小金井市議会では18年振りとなる参考人招致が行われました。

昨年11月に、小金井市の委託事業法人が実施する介護老人保健施設の個人情報を、西岡市長の支援を受けた元副施設長が、自らが立候補した2017年の市議選に使うため盗用した事件が発覚。市は元副施設長を警察に告訴し、ご本人も罪を認めましたが時効により不起訴処分となっています。

その後、市民より調査を求める陳情書が提出され、今回、その元副施設長を陳情審査の参考人として招致し、各委員が一問一答形式で質問しました。

「名簿盗用の理由は?」、「西岡市長の関与は?」等の質問があり、参考人は真摯に答えつつ、「市政に多大な迷惑をかけ申し訳ない」と謝罪もありました。

村山ひでき個人としては参考人招致までする必要はなかったと考えていますが、委員長としてご協力いただいた参考人に感謝申し上げます。

## 参考人招致と100条委員会

地方議会における「参考人招致」とは地方自治法115条の2「議会は当該普通地方公共団体の事務に関する調査又は審査のため必要があると認めるときは、参考人の出頭を求め、その意見を聴くことができる」によるもので、当事者や学識経験者など専門家の記憶や知識を聞き、問題解決へとつなげる方策の一つ。出席拒否も可能。

地方自治法100条に基づいて設置されるのが「100条委員会」で自治体の仕事に重大な疑念が発生した時に置かれる特別委員会。法律に基づく強制力のある調査で、正当な理由がなく出頭や証言を拒否したり、虚偽の証言をした場合は、禁錮刑以下の罰に問われる可能性がある。

## 参考人招致の対象となった陳情

- ① 平成29年市議会議員選挙で、立候補者が市の指定管理である施設の名簿を選挙活用した事が法令に照らし適正だったかの検証陳情書
- ② 都選管の収支報告書に記載されている寄附の事実解明を求める訴え陳情書
- ③ 元市議候補による個人情報盗用など一連の疑惑について地方自治法100条に基づく調査を求める陳情書
- ④ 小金井あみず園への委託事業継続の是非に関し、小金井市議会に厳正調査を求める陳情書

## パートナーシップ宣誓制度 10月20日スタート!



総務企画委員会で議事を進行中(9月15日)

9月15日の総務企画委員会の行政報告で、小金井市でも都内で8例目となる、いわゆる同性パートナーシップ証明制度が10月20日より導入されることが明らかになりました。

市では、多様な性を認め合い、人が人として尊重され、誰もが自分らしく生きることができる地域社会の実現を目指すことを目的として、宣誓制度の導入に取り組んでいました。

パートナーシップとは、互いを人生のパートナーとし、相互の協力により、継続的な共同生活を行い、又は継続して共同生活を行うことを約した、一方または双方が性的少数者である2人の者の関係のことであり、そのパートナーシップの関係にあるお二人が、パートナーシップ宣誓書及びパートナーシップ確認書に必要事項を記入し、要件を満たしていると認めるときはパートナーシップ宣誓書受領証等を交付することになったものです。

### 村山ひできプロフィール

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業  
～衆議院議員(岩國哲人・城島正光)秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選  
～(株)ジェイコム東京に入社し社員として勤務
- 2016年 復帰を決意し(株)ジェイコムを退職
- 2017年 再び小金井市議会へ  
民進党の解党とともに無所属に  
現在、総務企画委員会の委員長を務める

### 《主な地域活動》

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井新能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市トライアスロン連合 事務局長
- 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局
- 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はげの自然を大切にすの会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員
- 小金井明るい社会づくりの会 常任理事

### 村山ひでき事務所

〒184-0004  
小金井市本町6-13-17  
サンライズ武蔵小金井702  
TEL 042-386-5543  
FAX 042-386-5560  
携帯 090-3428-2715

#### ✉メール

hideki@murayama.tv

#### WEBサイト

http://www.murayama.tv

#### Twitter

@Murayama\_Hideki

#### Facebook

https://www.facebook.com/hideki.murayama.52